

## (4) 学校教育学部

## ④ 学びのひろば

## ア 運営・活動の状況

## i) 学びのひろば支援部会設置の趣旨（目的）及び組織

学びのひろば支援部会は、教員養成学部における教職を志す学生の教員としての実践的指導力育成に資するため、学生が種々の体験活動を通じて、子ども達とふれあい、子どもの気持ちや行動を理解できる機会を設けることを目的に教務委員会の下に専門部会として設置されており、「学びのひろば」の学生事務局指導教員及び各クラブ顧問教員の計13人で構成している。

## ii) 支援部会等の開催状況

平成29年度においては、4月7日（金）に新入生オリエンテーションの一環として「学びのひろば」新入生ガイダンスを実施したほか、学びのひろば支援部会を以下のとおり3回開催した。

- ・ 第1回 平成29年4月25日（火）
- ・ 第2回 平成29年9月15日（金）
- ・ 第3回 平成30年3月14日（水）

## iii) 審議された主な事項

- ・ 平成29年度学びのひろば実施計画
- ・ 平成29年度学びのひろば活動状況
- ・ 平成30年度学びのひろば活動計画

## iv) 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

近年、地元児童の申し込みが定員を大幅に上回り、地域に「学びのひろば」は定着している。平成29年度は、大学でのクラブ活動（5回）に加え、国立妙高青少年自然の家での2泊3日の活動（8月20日～22日、キッズクラブ除く6クラブが参加）を実施した。実施状況は、次のとおりである。

・ 第1回	平成29年6月3日（土）	参加児童数	338人
・ 第2回	” 7月1日（土）		325人
・ 第3回	” 8月20日（日）～22日（火）		150人
・ 第4回	” 10月21日（土）		135人
・ 第5回	” 11月11日（土）		269人
・ 第6回	” 12月2日（土）		230人

延べ参加児童数 1,447人

## イ 優れた点及び今後の検討課題等

## i) 優れた点

平成10年度から始まった「学びのひろば」の活動が地域に定着しており、例年300人を超える地域の小学生が参加している。

## ii) 今後の検討課題等

企画、準備、運営の全てを学生事務局に委ねているが、開始から20年の節目を迎えるにあたり、長くかかわってきた顧問教員の交代を検討する時期であり、大学による教員の全学的支援体制をどのように検討していくかが喫緊の課題である。

また、教職キャリアの準備面から見た「学びのひろば」の意義を勘案し、改善の方向性を探る必要がある。